

関東大学バスケットボール選手権大会

18年ぶり2度目

優勝



専大スポーツ

【専大スポーツ】https://www.senshu-u.ac.jp/sports/

No. 430

専大スポーツ 編集部 公式 WEB

Twitter @sensuponow Instagram sensuponow



ゴール下を支配し、MVPを獲得したクベマ

MVPにクベマ・ステイブ

鈴木悠斗主将(文4・シ)、チームの目標である桐光学園高は「ディフ日本一に向けて、レベルアップしたい」と決意を述べた。個人では、クベマ・シ

「今大会の反省点を改善」

関東大学バスケットボール選手権大会(4月23日～5月8日、大田区総合体育館ほか)で、男子バスケット部が決勝で白鷲大を71-55で破り、18年ぶり2度目の優勝を果たした。



得点源としてチームを躍進させた米山



献身的なプレーでチームを支えた浅野

【試合結果】

1回戦	97-59	東京経済大
2回戦	93-73	国士舘大
準々決勝	79-55	山梨学院大
準決勝	63-57	日本大
決勝	71-55	白鷲大

ヨセフ・ステイブ(経営3・福岡第一高)が最優秀選手賞(MVP)、米山ジャバ偉生(文3・東海大付諏訪高)と浅野ケン一(経済2・洛南高)が優秀選手賞に選出された。得点、リバウンド、ブロックと攻守にわたって活躍したクベマは「優勝できたことはうれしい

が、個人として、ミドルシュートやスリーポイントシュートをもっと決めたい」と喜びながらも「自分のプレーに満足していない。秋のリーグ戦では自分の強みを生かしたプレーをしたい」と述べた。浅野は「自分はビッグプレーをするタイプではないが、献身的なプレーが評価され賞を獲得できたことをうれしく思う」と語った。

試合を重ねる中でより強固なチームへと成長したバスケットボール部は、20年ぶりのインカレ優勝へまい進する。(鶴本あい・法2)

卓球 女子 惜しくも準優勝

敢闘賞・優秀選手賞 出澤 最優秀ペア賞 船場・出澤組

春季関東学生卓球リーグ戦(5月11～14日、埼玉県・所沢市民体育館ほか)で、女子が6勝1敗で準優勝となった。個人では、



最優秀ペア賞の船場(右)・出澤組 提供:Rallys

出澤杏佳(文2・大成女子高)が敢闘賞と優秀選手賞に、船場清華(文3・明德義塾高)・出澤組が最優秀ペア賞に選ばれた。女子主将の大島奈々(文4・愛知みずほ大瑞穂高)は「目標を達成することができず、とても悔しい。気持ちの部分で、相手に押されてしまったことが反省点。インカレ(7月、全日本大学総合卓球選手権大会団体の部)と秋季リーグ戦では必ず優勝できるように頑張りたい」と意気込みを語った。

男子は、通算5アンダーの和田歩(経営3・杉並学院高)の健闘が光り、4位。6月に行われる全国大学ゴルフ対抗戦の出場権を獲得した。女子はBブロックで2位に終わり、Aブロック復帰を逃した。

奮闘も優勝逃す 菊地が最優秀防衛率賞 東都大学野球春季リーグ戦(2部)第3～5週(5月10～25日、埼玉県・UDTラックス上尾スタジアムほか) 9勝3敗の勝ち点4で2位に終わった。第3週、東洋大との直接対決が明暗を分ける結果となった。初戦でエースの菊地吏玖(経営4・札幌大谷高)が完投勝利を挙げたが、あと1勝が遠かった。主将の新出篤(山縣) 史(経済4・函館大付有斗高)は「相手は投打ともに隙が無かった。今は悔ししかない。4年次生を中心に、全員野球で負けないチームを作りたい」と秋季リーグ戦での巻き返しを誓った。惜しくも優勝を逃したが、選手たちの活躍が光った。菊地が最優秀防衛率賞を受賞したほか、ベストナインの投手に菊地、捕手に新出、外野手に南保良太郎(経営4・星稜高)、指名打者に外山優希(経営3・開星高)の4人が選ばれた。

弓道 百射会・女子部記録会

男子 島が6位入賞 女子 平井が連中賞



団体戦に向け、練習に励む島と平井 二生田キャンパス

的中数を競う弓道大会で、男女ともに結果を残した。

男子の百射会(5月1日、渋谷区・明治神宮至誠館第二弓道場)では、島歩夢(文3・茨城高)が、100射中86本の的的

6位に入賞した。同会場で行われた女子部記録会(4月30日)では、連続16本の的中で連中賞を受賞した平井紀里(経営2・都立東高)が、40射中33本の的的で5位となった。「高校生の頃から百射会にあってきた」と語った島。1年次から主力選手として名を連ね、昨年の全日本学生選手権大会(インカレ)の初優勝にも貢献した。「練習にも貢献した。練習の力を出さずして、自分でも驚いていく。以前は緊張に弱かった」と話す。専大入学生後に練習量を増やし、徐々に弱点を克服していった。今後も全関東学生選手権大会、インカレ予選と試合が続く。平井は「昨年は男子にインカレ優勝で話題をさらわれてしまった。一戦でも多く勝利して、今年は弓道部全員で結果を残したい」と団体戦に向けて意欲を示す。確かな成長を見せる弓道部に今年も注目だ。(山縣龍人・法3 写真56秒)

記録コーナー

- ◇アーチェリー部
- ▽全日本学生東日本大会(5月21～22日)【女子】八木さくら(経済4・千葉葉英和) 12位、福田麻
- ▽関東学生リーグ戦(5月10～17日)【男子】フルー16位、エペ6位、サール(2部)2位※フルール・エペともに1部残留【女子】フルール6位、エペ4位、サール(2部)1位、※フルールは2部降格、サールは1部復帰
- ◇レスリング部
- ▽東日本学生リーグ戦(5月18～20日) 8位
- ◇陸上競技部
- ▽関東学生陸上競技対校選手権大会(5月19～22日)【男子2部】ハーフマラン(ダンカン・キサイ) 経営2・大分東明高 13位(1時間3分56秒)